

ヨハネの黙示録 第2章 10節

「あなたがたが受けようとしている苦しみを恐れてはいけない。見よ。悪魔はあなたがたをためすために、あなたがたのうちのある人たちを牢に投げ入れようとしている。あなたがたは十日の間苦しみを受ける。死に至るまで忠実でありなさい。そうすれば、わたしはあなたにいのちの冠を与えよう。」

秋になりベランダの薔薇は再び蕾をつけ、いつか咲く日に向かい、陽を浴び、雨と風のなか葉を広げる。ところが、ある日ひとつの蕾がなくなっていた。茎が虫に食べられたようだ。そして、又ある日のこと蕾の裏側を見ると、表は蕾のままなのに、裏側半分は食べられていた。せっかくの蕾が無惨にも、これでお終いとなった。試練があり、死があることを花は教える。

それでも、ある期間だけの試みである。花は再びちからを得て蕾をつけるだろう。花が懸命に咲こうとする以前に、花を咲かせるお方がいる。だから、あなたがたが受けようとしている苦しみを恐れるな。あなたがたを襲う試練に向き合いなさい。死に至るまで忠実でありなさい、と伝えてくださる。過酷な状況にある者へ語りかけるお方がいる。「そうすれば、わたしはあなたにいのちの冠を与えよう。」これを聞けばよい。